

〰〰〰〰 編集後記 〰〰〰〰

今回の「京浜歴科年報」には、論文一本と総会記念行事である共同研究「横浜市史稿」を読む」における報告・記録に関するものを二本、さらに史料紹介と書評をそれぞれ一本掲載いたしました。たいへんお忙しい中で執筆・寄稿して下さいました皆様には、厚く御礼を申し上げます。

拙稿は本会の活動と深い関わりを持つものです。そこにおける町村行政についての検討は、本会の研究例会である「特設研究会大正期の町村事務」における共同研究と、その成果の一部をまとめた「特集 近代日本の町村事務」(「京浜歴科年報」第一号、一九九七年)といった本会の研究成果に負うところが大きいことを記しておきたいと思えます。植山「横浜市史稿」を読む「都市史研究と横浜」は、「京浜歴科研究会報」第一八二号掲載の総会記念行事の記録を加筆・修正の上で転載したものです。大湖「大正期横浜市の社会事業」は総会記念行事における報告内容をまとめたものです。史料紹介と書評は、ともに史料や著作への一つの接近の仕方として示唆するところが少なくないと思われまます。

今後とも「京浜歴科年報」にご支援のほどを宜しく御願ひ申し上げます。あわせて読者諸氏の忌憚のない御批判を乞う次第であります。

(松田隆行)

京 浜 歴 科 研 年 報 第 一 六 号

発行日 二〇〇二年一月二七日

編集・発行

京浜歴史科学研究会

〒二三三—〇〇〇六

横浜市港南区芹が谷五―五九―一二 大湖賢一方

電話 〇四五―八二五―三七三六

郵便振替口座 〇〇二七〇―八一―一五五三五

印刷

合資会社 横 浜 大 気 堂

横浜市中区真砂町四―四〇